



# その弟子たち

白隠禪師  
二百五十年  
遠諱記念

白隠慧鶴（二六八五〜一七六八）の禅画と墨蹟は、自らが連なる祖師を拜する思想が顕著に見られます。白隠が描く祖師の像、祖師がのこした語を認めた墨蹟からは、禅宗初祖・菩提達磨や臨済宗祖・臨済義玄（？〜八六七）のみならず、虚応燈の法灯と、関山禅の法灯を重んじる姿がうかがえます。こうした姿は、近世前期の禅匠として名高い愚堂東寔（二五七七〜一六六二）にまでたどることができ、これらの遺墨の多くは、白隠の思想の根幹にあつた祖師の教えをあらわしています。

白隠が描く祖師の姿は実に多様です。いわゆる「留守模様」にて描かれるものもあれば、なかには祖師のすがたを見出すことが難しいものまであります。また、これらの作品がとりわけ謹直な筆致であるのも、ほかのジャンルの遺墨にみられない魅力のひとつといえるでしょう。

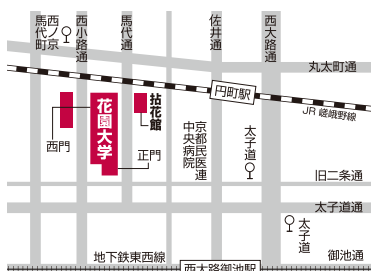
祖師がたから白隠へ伝えられた法灯は、東嶺圓慈（二七二二〜九三）・遂翁元慮（二七二七〜八九）・峨山慈禪（二七二七〜九七）・良哉元明（二七〇六〜八六）・提洲禅恕（二七二〇〜七八）等の弟子たちによつて堅持されました。白隠下の傑僧たちは、白隠の教えのみならず禅画をも受け継ぎ、師の書風と画風を踏襲しながらも、それぞれの特徴をもつ遺墨を数多く遺しています。

白隠禪師二百五十年遠諱を記念し、三回シリーズにて開催する展覧会「白隠」も本会期で最終期となりました。今期は、白隠が描く祖師の姿と、祖師がのこした語を認めた遺墨を展覧します。これらの作品を通じ、白隠の思想の根幹にあつた祖師の教え、ひいては臨済宗の宗風を再確認する機会となれば幸いです。さらに、白隠下の禅画と墨蹟により、その系譜を紹介するとともに、白隠下の遺墨の魅力に迫ります。

- 1 関市指定有形文化財 虚堂智愚像 白隠慧鶴自画像 江戸時代（十八世紀） 岐阜県関市 梅龍寺〔前期〕
  - 2 墨蹟 柏樹子語有賊賦 白隠慧鶴筆 江戸時代（十八世紀） 東京都文京区 徳源院〔前期〕
  - 3 鎌丹図 東嶺圓慈自画像 江戸時代（十八世紀） 静岡県三島市 龍澤寺〔前期〕
  - 4 隻履達磨図 白隠慧鶴自画像 江戸時代（十八世紀） 愛知県西尾市 華藏寺〔前期〕
  - 5 目つ小僧図 提洲禅恕自画像 江戸時代（十八世紀） 大分県中津市 自性寺 大雅堂〔後期〕
  - 6 神農図 遂翁元慮自画像 江戸時代（十八世紀） 静岡県沼津市 永明寺〔後期〕
  - 7 柿に鳥図 峨山慈禪自画像 江戸時代（十八世紀） 東京都文京区 麟祥院〔前期〕
  - 8 墨蹟 庭前柏樹子 良哉元明筆 江戸時代（十八世紀） 愛知県西尾市 花岳寺〔後期〕
  - 9 慧可断臂図 白隠慧鶴自画像 江戸時代（十八世紀） 大分県中津市 見星寺〔後期〕
- 〔前期〕10月9日（祝）〜11月11日（土）〔後期〕11月13日（月）〜12月9日（土）  
1〜4：9は、撮影・第一スタジオ 堀出恒夫 提供・花園大学国際禅学研究所  
背景右… 虚堂達磨図（留守模様）部分 白隠慧鶴自画像 江戸時代（十八世紀） 東京都世田谷区 龍雲寺〔前期〕  
背景下… 墨字面壁達磨図部分 白隠慧鶴自画像 江戸時代（十八世紀） 大分県中津市 自性寺 大雅堂〔前期〕
- 白隠禪師二百五十年遠諱事業は、平成二十八年年度から平成二十九年度の二ヶ年にわたり厳修します。

## 花園大学歴史博物館

〒604-8456 京都市中京区西ノ京壺ノ内町8-1  
tel.075-811-5181(代) fax.075-811-9664  
http://www.hanazono.ac.jp



〈交通案内〉●京都駅より/JR嵯峨野線「門町駅」下車徒歩8分、市バス26・205「太子道」下車徒歩5分 ●京阪三条駅より/京都バス63・64・65「西ノ京馬代町」下車徒歩2分、地下鉄東西線「西大路御池駅」下車徒歩12分 ●阪急西院駅より/市バス26・27・特27・91・202・203・205「太子道」下車徒歩5分 ●駐車場がございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。